



News Letter

No. 10

2003年11月1日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

労働運動の魅力を伝えたい レイバーフェスタ2003に参加を!

広浜綾子(レイバーフェスタ2003事務局長)

今年のレイバーフェスタは、マイケル・ムーアの「ザ・ビッグ・ワン」の上映を中心に、去年同様の3分間ビデオ、横井久美子さんのミニコンサート、グループ自由の木による郡読などのパフォーマンス、ゲストによるシンポジウムといったプログラムで行います。

メインの映画、「ザ・ビッグ・ワン」はマイケル・ムーアのユーモア溢れる社会批判が痛烈なドキュメンタリーです。97年の映画ですが、今年のアカデミー賞受賞式で、「ブッシュよ、恥を知れ!」と言い放ったムーア監督の真髄にふれる事ができるのではないのでしょうか。映画の中で、書店のサイン会中にムーア氏が「私たちはこの書店の従業員ですが、あなたの講演に参加することを会社から禁じられています。今、周りにいるのは管理職ばかりです」というメモを渡されます。そして、メモには今夜労働組合を結成するから立ち会ってほしいと書かれており、ムーア氏がその労働者たちの笑顔を撮り、激励する、というシーンがありました。

去年のレイバーフェスタで上映した「ブレッド&ローズ」はまさに労働組合の結成を実話を元に描かれた映画でしたが、今回の「ザ・ビッグ・ワン」という映画も労働者が何を求めて組合を結成し、資本と闘うのか、という事が伝わってくる映画だと思います。去年、今年とたまたまアメリカの労働運動を扱った映画を上映することになりました。

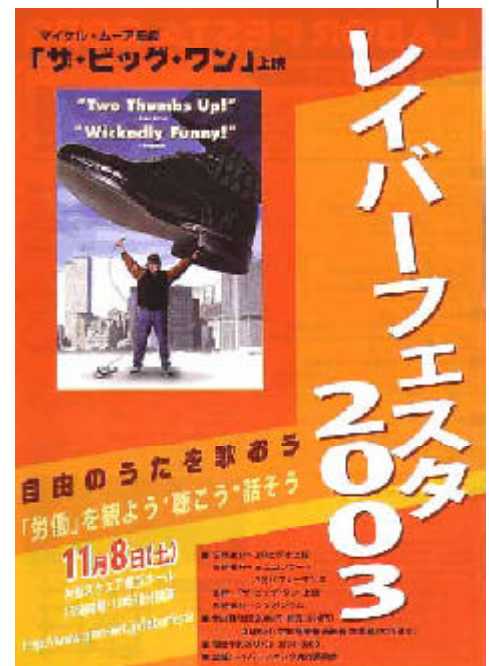
去年、ゲストに来て頂いた全米サービス労組の移民労働者のラミレスさんはシンポジウムの発言のなかで「労働組合のおかげで市民権が得られるようになり、そのおかげで2人の息子は軍隊に入れた」と誇らし気に語っていた事は私には悲しく感じられました。人権を守るはずの組合の力で獲得されたものは、生活の為に戦場に行く事ではないはずです。しかし、移民労働者にはそれさえも自由としてうつる現実があるのだろうし、そうした事がアメリカの労働者による反戦運動に矛盾を持たざるを得ないものとなっている気がしてなりません。

今年のシンポジウムのゲストはケント・ウォンさんに決めました。ケント・ウォンさんは移民労働者の組織化をすすめている人で、アメリカの新しい

労働運動の「旗手」となる人だそうです。

今春、イラク戦争を機に市民による反戦運動、というのが盛り上がりを見せました。けれども、私達は市民であっても、大抵の人は生活のために働いている労働者でもあります。労働者には、ストライキ権など、経済をストップさせ、社会を動かせるかもしれない現実的な力があります。

労働運動というものは確かに泥臭いし、ダサくてカッコよくはないかもしれませんが、ダサくても本気で取り組むなかには、辛くても楽しいし、おもしろい事も、感動する事もたくさんあります。そうしたところを今回のレイバーフェスタで伝えていけたらと思っています。前回同様、たくさんの方の参加をお願いします。



『レイバーフェスタ2003』

自由のうたを歌おう ~ 「労働」を観よう
・聴こう・話そう

2003年11月8日(土)午後1時開場、午後1時30分開演

労働スクエア東京ホール 03-3552-9131

(東京都中央区新富1-13-14、地下鉄日比谷線八丁堀駅下車A3出口徒歩2分)

参加費/当日2000円(前売1500円)当日割引(学生・障害者・高齢者・失業者200円引き)

電話予約あり/03-3530-8590

「がんばれ! 韓国シチズン労組」を立ち上げる シチズン本社に無言のプレッシャー



れている日本のシチズン本社に対する無言のプレッシャーにもなっている。

グローバル化時代に、レイバーネット日本の仕事はますます重要になりそうだ。最近、ウェブサイトへのアクセスは急増しており、創設以来アクセス数は、21万を突破した。



資本のグローバル化を象徴するような事件が起きている。韓国シチズンの工場閉鎖・廃業、そしてより儲けをうむ中国への工場移転である。そのなかで解雇された韓国のシチズン労働者(ほとんどが女性)は、不当廃業撤回を求めて、日本に遠征団を送って本社交渉を行い、闘っている。また日本の労働者有志は「応援する会」を結成して、支援運動をはじめた。

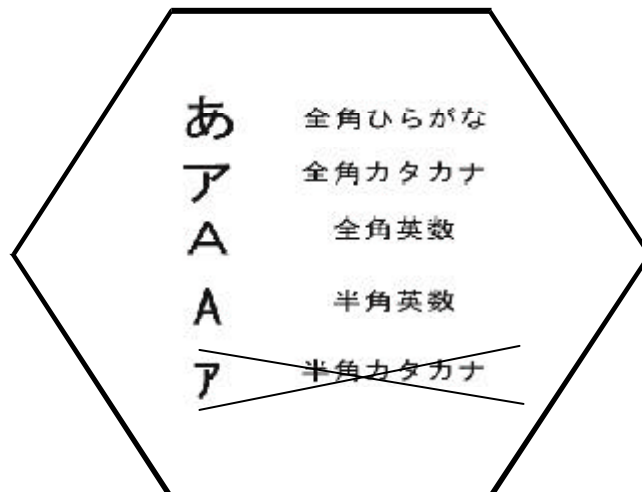
レイバーネット日本では、こうした一連の運動を情報面で支援するために「がんばれ!韓国シチズン労組」のページを立ち上げ、連日キャンペーンを行っている。そしてついにビデオによる動画配信も始めた。動画や写真は、韓国で遠征団を見守る工場占拠中の仲間もすぐ見ることができるので、その果たす役割は大きい。またこのサイトは、事件の拡大を恐



インターネット・基本の基本(その2) 半角文字は使わない

よく文字化けのメールが送られてくることがある。その原因で一番多いのが、タイトルや本文に半角カタカナ文字や特殊文字を使っている場合だ。半角カタカナ文字とはたとえば、「アｲｳｴ」という文字。特殊文字とは「、〒、(株)」などだ。これらの文字は、じつはそれぞれのワープロソフトでは使えても他のマシンで読めないことが多い。インターネットとはさまざまなコンピュータを経由して相手に届くので、特殊な文字は消化できずに文字化けとなってしまうのだ。ということで、半角カタカナ文字や特殊文字

は使わないようにしましょう。(松原)



第4回社会フォーラムにむけて

WSF2004東京プレフォーラム

来年1月、インド・ムンバイで第4回世界社会フォーラム(WSF)が開催されます。これにむけて、日本でも「フォーラム」にかける熱い思いを共有し、自分達に何ができるかを考える場として、「もう一つの世界を! WSF2004東京プレフォーラム」(日時:11月2日午後1時~7時半、会場:東京都文京区民センター)が開催されます。

これまで三度行なわれた世界社会フォーラムには、日本からも数十人が参加しました。しかし、参加者間の意見交流や、「フォーラム」に参加できなかった人たちとの内容の共有は、まだまだ不十分です。この教訓を踏まえ、今年5月、WSF連絡会(仮称)が結成されました。連絡会は、第4回フォーラムの参加者をサポートすること、そして参加者と、フォーラムに参加できなくても関心がある人たちとを結び付けることを目的にしています。

連絡会が主催する今回の「プレフォーラム」は、3部から構成されています。第1部では、WSFの入門的な説明と参加者のリレートーク、第2部では、反戦・平和、労働、ジェンダー、経済のグローバル化、環境、メディア、ユースなどの分科会に分かれ、WSFと日本のかかえる問題とを関わらせて、議論します。第3部では、再び一堂に会し、第2部での議論を踏まえて、WSFやそれ以後の日本でのアクションを考えます。WSFに関心がある方や、日本の様々な運動課題の共有を志す方など、参加をお待ちしています。(大屋定晴)

ケン・ローチ監督とレイバーネットメンバーが交流

イギリス映画界の巨匠で、労働運動をテーマにたくさん名作をつくってきたケン・ローチ監督が、世界文化賞受賞を機会に10月中旬、初めて日本を訪れた。



私たちは、昨年のレイバーフェスタで彼の「ブレッド&ローズ」を上映したこともあり、ケン・ローチ氏へメールを出して「ぜひ会いたい」とアプローチしてきたが、ついに10月21日午後、ホテルオークラで交流することができた。こちら側は計7名。ケン・ローチ氏は民営化と闘っている鉄道労働者に会いたいということだったので、国労闘争団の大谷さん、酒井さんにも参加してもらった。監督は気さくな人で、すぐに打ち解けた。1時間半ほどの時間だったが、私たちのやっている活動を紹介したり、労働運動が抱えている問題をディスカッションしたりと中身の濃い時間だった。ケン・ローチ氏は、映画監督というより、労働運動を基盤に社会を変えようとする「活動家」でもあった。レイバーフェスタ2003の賛同人になってほしいとお願いしたら、2つ返事でOKだった。

レイバーフェスタ2003 賛同人・賛同団体

団体

ワーカーズコープアスラン / 首都圏青年ユニオン / ユニオン出版ネットワーク / オルタフォーラムQ / 協同センター労働情報 / 全日本建設運輸連帯労組 / ひょうたん島研究会 / JCA-NET / ビデオプレス / オリジン電気労組 / 女性ユニオン東京 / 全日本港湾労働組合 / 練馬ユニオン / 東京東部全労協 / 郵政4.28を共に闘う全国ネットワーク / 全国労働組合連絡協議会 / 自治労公共サービス清掃労組 / 東京東部労組 / ジャパンユニオン / 労働運動センター / 郵政ユニオン / 郵政全労協 / ふれあい江東ユニオン / 伝送便編集委員会 / 全国一般労働組合東京南部 / 小川町シネクラブ / 東京労働安全衛生センター / 首都圏なかまユニオン / とめよう戦争への道100万人署名三多摩連絡会 / 国鉄闘争共闘会議 / 闘う闘争団に連帯する首都圏の会 / 全統一労組 / 神奈川シティユニオン / 東京労働組合交流センター / 平凡出版労組 / 反リストラ産経労 / 沖縄学校事務労働組合 / 本郷文化フォーラム・ワーカーズスクール (HOWS)

個人

広浜綾子 (出版ネッツ) / 安並克磨 (音楽家ユニオン) / 伊藤彰信 (全港湾) / 山崎精一 (APWSL日本) / 木下昌明 (映画評論家) / 安田幸弘 (レイバーネ

ト日本) / 佐々木有美 (ビデオプレス) / 中山一郎 / 尾沢邦子 (ノレの会) / 片柳悦正 (レイバーネット日本) / 松原明 (ビデオプレス) / 高幣真公 (APWSL日本) / 河添誠 (レイバーネット日本) / 菅原敏夫 (JCA-NET) / 渡邊充春 (釜ヶ崎講座) / 池田恵理子 (ビデオ塾) / 近藤日佐子 / 宇田正子 / 西村綾子 (相模原市議・婦人民主クラブ) / 柚木康子 (全石油シェル労組) / 大島正裕 (アクト新聞社) / 小原悟 (創史社) / 安齋徹雄 (出版ネッツ) / 山根岩男 (出版労連) / 千葉浩之 / 戸塚秀夫 (国際労働研究センター) / 渡部謙三 (全動労争議団) / 望月吉春 (ATTAC-JP) / 浅野和子 / 岩川保久 (レイバーネット日本) / ケン・ローチ (映画監督) / 穴田維雄 (東埼労組) / 大谷英貴 (国労留萌闘争団) / むとう有子 (中野区議) / 出山礼子 / JNK (首都圏青年ユニオン) / 大屋定晴 (ATTAC-JP) / 飯田基晴 («あしがらさん»上映ネット) / 清水直子 (フリーライター) / 星山京子 (日本キリスト教団労働組合) / 土松克典 («異議あり!日韓自由貿易協定»キャンペーン)

(受付順) 2003年11月2日現在



8月例会報告

郵政労働者がフランス独立系労組との交流報告 アフガン料理を食べながら

8月9日(土)レイバーネット日本例会を開催しました。夏の例会は、アフガニスタン料理を食べながらの交流企画でした。今年の6月に渡仏しフランス郵政公社の独立系労組 SUD-PTT と交流してきた郵政ユニオンの池田実さんと湯川順夫さんにお話をうかがいました。

現地の運動を撮ったビデオを見て話をうかがったので、具体的にどんな様子で現地の労働者が働いているかがよくわかり、良い企画だったと思います。フランスの郵政労働者は各々好きな音楽を流しながら郵便物の仕分け作業していたり、日本に比べると労働者が働きやすい職場環境を自立的に作っているような印象を受けました。

SUD-PTTの大会(?)の様子もビデオにあったのですが、その壁にアフガニスタンにおける人権抑圧を告発し続けていることで有名な団体であるアフガニスタン女性革命協会(RAWA)の旗が貼ってあったのは印象的でした。この労働組合が狭い要求を掲げて運動をしているのではなく、広く国際的な問題にも関わりながら運動を展開していることが、そこにも象徴的に現れているように感じました。こうした社会運動との連携を強く意識した労働運動の可能性を感じた報告でした。

ただ、もう少し知りたいのは、こうしたSUDなどの新しいうごきとCGTのような大きな左派ナショナルセンターの動きがどのように関係しているのか、いないのかということでした。フランス労働運動の全体の中での位置づけがいまひとつわからなかったのは残念でしたが、いろいろと運動を考えていく上で刺激になりました。

参加者は、20名ほどで、岡山から来られた方もいらっしゃいました。なお、例会会場の「神田カブール食堂」はアフガニスタンからの難民支援の運動の中でできたお店で、なかなか日本では馴染みのないアフガニスタンという国を料理を通じて知ることのできる貴重なスペースとなっています。お店の方には、ビデオ映写にも協力していただき、とても使いやすいスペースでした。(河添誠)



好きな音楽を流しながら郵便物を仕分ける
フランスの郵政労働者

< 新入会者紹介 >

都営交通年休裁判原告の中山一郎と申します。私は都営地下鉄新宿三丁目駅に勤務しています。都営交通の各職場では2000年の大江戸線全線開業に際して、労基法を無視した大合理化が強行され、それ以降、職場では代替え要員がいないため、誰もが年休を取得でき難い事態となっています。私は当局のチェック機能を果たせなくなった御用組合(東交)に代わって、どんなに苦しくとも職場の声を代弁していきたいと考え、今、東京地裁で都を相手取った国家賠償請求訴訟を行っています。最近、公務員バッシングが叫ばれていますが、私たちだって決して楽をしているわけではありません。苦しいんです。人らしく生きるために、共に頑張っていきましょう!

レイバーネット日本の会員になりませんか

レイバーネット日本は、個人を単位とする会員制度で運営されています。会員には、次のような特典があります。

- * 会員メーリングリストへの参加
- * レイバーネット日本のウェブサイトへの記事や情報の編集・投稿が可能
- * レイバーネット日本サイト内に自分のページを持てる
- * レイバーネット日本主催の研究会、講習会などのイベントへの優先参加
- * その他

入会をご希望の方は、下記の入力項目の事項を入力フォームか電子メールで送信(注意)するか、郵送、ファクスで下記の宛先にお送りください。年会費は3000円です。年会費は別途郵便振替でお支払いください。

年会費 3,000円
郵便振替 00150-2-607244
レイバーネット日本
郵送宛先
〒173-0036 東京都板橋区
向原2-22-17-403
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス
apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8590
ファクス 03-3530-8578



(イラスト: 広浜綾子)